

1550 | 画像表現研究

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

清水恒平准教授、宮林裕二郎講師

授業の概要と目標

本科目では、画像表現研究を「画像を用いた、ヒトとヒトまたはヒトと機械におけるコミュニケーション」と捉え、その単なる表現技術や関連知識の習得にとどまらずに、コミュニケーションの視点から、今後の画像表現の可能性を明らかにしていきたい。

通信・面接授業を通して、画像表現が人間の知覚や認知、理解にどのような影響を与えているかという側面に言及しながら、実証的な課題制作を行い、背景技術に関する深い理解とその習得を目指す。

課題の概要

○通信授業課題

・生活環境における画像表現の調査分析と研究提案。

○面接授業課題

・通信課題では困難な実習。

・各自のテーマ設定に基づく、画像表現の実制作とプレゼンテーション。

※課題については、学習指導書『画像表現研究 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書『デジタルイメージクリエイション』の全章を範囲とする。

[面接授業]

第 1 日 オリエンテーション・各自課題設定

第 2 日 企画制作／カウンセリング（ネットワーク上でヒアリング）

第 3 日 制作／チェック（ネットワーク上でヒアリング）

第 4 日 制作／チェック／講評／リフレクション

OLP オンラインプラス [中間] —BBS 上での中間アドバイス

Web キャンパス学生メニューの【ネットフォーラム】にて制作中の課題に対して中間アドバイスを行う。

成績評価の方法

提出された課題によって評価を行うものとする。面接授業においては出席状況も評価の対象とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] デザインシステムコース 3 年次必修科目の単位をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049 の特例を除く）。

[備 考] デザイン情報学科デザインシステムコース 4 年次必修科目。

下記の条件を満たすコンピュータ、ソフトウェアを所有するか、もしくは利用できること。

・Macintosh または Windows で、少なくとも 300 万画素画像をストレスなく処理できるもの。

・Adobe Photoshop 等の画像編集ソフトウェア。

・Web ブラウザ。

・processing

・skype / messenger 等

下記の条件のコンピュータネットワーク環境が活用できること。

文字・音声チャットが可能なインターネット接続

※スクリーニング時に大学の PC を使用することが可能だが、自分の PC（ノート PC）を持参できる者は、持参することをお勧めする。

スクリーニング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：『ビジュアル情報処理 —CG・画像処理入門—』（公益財団法人画像情報教育振興協会 2017 年）

学習指導書：『画像表現研究 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）